

お客様各位

株式会社 山喜農園

新潟県魚沼市原1280-1

TEL. 025-794-2455

FAX. 794-4168

E-mail: info@yamaki-noen.co.jp

HP Address. http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

平成26年12月25日に発行した文章を一部改正しました。

古い情報と新しい情報が記載されています。

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

14年産オランダ産百合球根在庫表、年内最後の発行になろうかと思えます。

今回の在庫表は、高い割合で欠品してしまいました、ニンフ・ストラッカー・ホロスをご注文のお客様向けに作成したモノを参考までに、他のお客様にも送付させていただきました。

ニンフは、さらに欠品が予想されます。あまりにも欠品率が高い為、年内にお知らせし、報告が遅れている輸出業社分は、年明けに連絡いたします。

作況は品種により偏りがある様です。

- ① 太りすぎて欠品←←← 本年独特の傾向
 - ② 太ってなくて欠品
 - ③ 日本向けロット取り忘れて欠品
 - ④ リン片腐敗により欠品←←← これも今年の傾向
 - ⑤ 根腐れ病による欠品←←← 新しい問題
 - ⑥ Plamv 濃度が高まり過ぎて欠品←←← まだまだ厳しい…
- などが主たる欠品理由となっている様です。

*大きめへのサイズ変更をお勧めします。春作はそれなりに輪が付いてくれるとは思いますが、抑制作型の輪付きが心配です。

*この分析…、間違っていましたね！14年産は休眠打破がしっかりと出来ていなかったのに、冷凍してしまった。5月球根出庫作型くらいまでその影響が残っていたのではないか？（14年産南半球産同様！）後半戦は、パワーが落ちなかった。（晩秋作型の温室内品質は、過去の記憶にないほど切花品質が良い。）

0.H/O.T系は、全体傾向としては作は良いのですが、例年通り「エラー」が出ますね…。

作況の良さを指し示す典型的な市場状況…。

中国市場の球根輸入量（推定）						
	*台湾・ベトナムとかなり数字が被さるケースがあるそうです。（1,000球単位）					
	*南半球産の輸入球数は、次年に前年産の球根が入荷するケースがあるそうです。					
産出国/産出年	09NL/10SH	10NL/11SH	11NL/12SH	12NL/13SH	13NL/14SH	14NL/15SH
オランダ産	111,000	172,400	198,000	245,100	189,900	245,000 *
刈産	16,000	22,000	13,600	26,400	25,300	未定
ニュージーランド産	6,500	12,700	7,700	10,900	13,000	未定
	133,500	207,100	219,300	282,400	228,200	未定
*すでに12年産オランダ産並みの受注量。（12年産オランダ産は中国市場に対してダンピングされていた。）						
そして14年産オランダ産は、輸出業社レベルで、まだ売り切れていません。						

*15年産南半球産については、中国市場はどれだけの球数が必要となるのでしょうか。

*15年産南半球では、計算上ニュージーランド産消費量が減る（日本の消費量が伸びるから？）。刈産の消費量が

増える（中国市場にダンピングする？**今や中国市場は世界の数量調整役/数量調整機能も果たしている。**）

*** どうやら 15 年産 N. Z 産、C. H 産とも前年比減少との情報が多い。**

*** どうやら 14 年産 N. L 産の入荷量は、12 年産を超えるそうです。**

注意：他の日本の球根業社様に嫌われてもあえて言いたい。

円安（対ユーロ）*今日現在（あくまでも今日現在です。）

対ユーロに対して、弱い為替は円とルブルだけ（ルブルの弱さはオランダ 百合切花農家がロシアに切花輸出しにくいから、オランダの切花農家にとって問題です）。

円安も N. Z ドルもユーロに対して強いので、球根決済/経費決済を行うオランダ 輸出業者にとっては仕入値上昇…？

中国・ベトナム・台湾・オーストラリア・メキシコ・その他球根消費量が伸びている国の為替は、対ユーロに対して強いので、日本より高い FOB 値が（オランダ 渡し価格）払いやすい。（輸出業社は、小さいサイズ/日本が使わないサイズの価格を上昇させて、日本が使うサイズの価格を下げしてほしい！！残念ながら、L. A は世界中、使うサイズが一緒なので、この技は使えませんが…。）

***世界同時過剰が生まれましたね…。**

*14 年産オランダ 産の O. H/O. T 球根が、世界消費に対して十分余るくらいあって、リスクの高い中国市場に数量調整の為、いっぱい輸出するような状況が確認できるのは、2~3 月以降。

お願いですから、輸入業者は、輸出業社と FOB 値仕入交渉をちゃんとしてから販売/仕入を始めましょう。

オープン価格で取引を初めて、結果的に「いくらでした」、「うちのお客様は、球根価格が高かろうが安かろうがあまり関係ない」という考え方で仕事をしていると、他の球根切花類、ガラス/ガラス/フリージア/アイリス/チューリップ/A. H/L. A と同じ道をたどる事になる様に思い、不安が高まっておりますよ！

日本市場という視点で球根仕入価格の適正化を図らなければ、まずいでしょう…。

（カルテルという意味ではないですよ…この円安ではいったいどのくらい球根代が払えるのか？見当もつかない…見極めるのに十分な時間が必要だと考えております。）

半分以上ボヤキですが、結構「マジ」です。

14 年産 N. L/F. R 産、15 年産 N. Z/C. H 産、日本市場の輸入量は適正だったのでしょうか？

15 年産 N. L/F. R 産の日本を含む各国の消費状況は、どうなる？

よろしくお願ひ致します。



以上
森山 隆

<http://www.lily-promotion.jp/>

私共はLPIの趣旨に賛同し
協力・応援しています